

代表樹種 ヤマボウシ



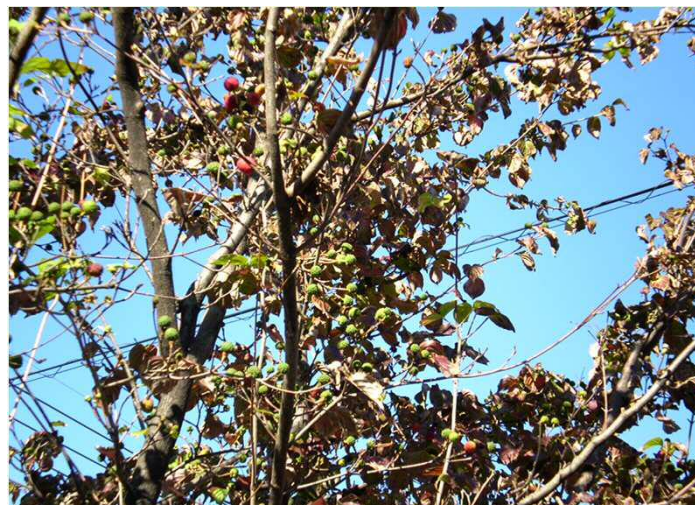
〔撮影場所;門司区清見〕

ミズキ科 ヤマボウシ (山法師) 別名//ヤマグワ 落葉広葉高木 樹高5~10m (10~15mとする解説もある)

十字形の清楚な花弁(総苞)があたかも法師の頭巾のように見えるためこの名がついている。開花時期はハナミズキが桜の直後に対し、北九州周辺では大体6月の開花であるが、最近(21世紀初頭)は5月下旬に咲き始めている。開花時、山では緑の中で樹冠に雪が降り積もったように見えるのでかなり遠くからでも存在が確認できる。花弁に見えるのは苞でハナミズキと同じ。紅葉も美しい。従来は茶花として利用されてきたが、近年は公園、街路に多く使用されている。個人の庭木としてもよく用いられている。



落花前にかなり紅色になる。ハナミズキは微紅色。ハナミズキに比べ苞の先端が鋭角。



ヤマボウシの実ほぼ球形で細かいイボイボ(突起)がある。食すと甘みがある。ハナミズキは食せない。

街路樹としての代表的路線
門司区 大積清見線
小倉北区 金田木町1号線

八幡西区 永犬丸区画環状線